

令和6年第1回定例会【3月】

一般会計・特別会計重点事業…………… 2  
予算特別委員会…………… 3  
議案審議…………… 4～5  
一般質問…………… 6～13  
議会構成…………… 14～15  
議会だよりギャラリー…………… 16

# 下郷

SHIMOGO

下郷町

議会だより

2024年6月

第107号



一般会計予算とは、町税や国庫・県支出金などの収入をもとに、教育・福祉や道路・公園の整備など、主に基本的な行政サービスを行う会計の予算。



### 生活環境

## 「住みよい町」

# 6億6,428万円

- 空き家対策総合支援事業
- 雪寒建設機械購入
- 消防出張所・分遣所庁舎整備事業負担金（広域圏組合）など

264,44万1千万円

## 特別会計予算

特別会計予算とは、特定の収入をもとに、特定の事業を行う会計の予算。

### 7億1,505万7千円

#### ◆ 国民健康保険



国民健康保険制度は、他の医療保険制度（被用者保険、後期高齢者医療制度）に加入されていない全ての住民を対象とした医療保険制度

### 9,583万1千円

#### ◆ 後期高齢者医療



75歳（寝たきり等の場合は65歳）以上の方が加入する独立した医療制度。対象となる高齢者は個人単位で保険料を支払う。

#### ◆ 介護保険

### 9億1,330万5千円



高齢者の介護を社会全体で支え合う仕組み

## 公営企業会計予算

#### ◆ 農業集落排水事業

### 3,891万4千円

農業集落におけるし尿、生活雑排水などの汚水等を処理する施設の整備により、農業用排水の水質の汚濁を防止し、農村地域の健全な水循環に貢献する。

#### ◆ 簡易水道事業

### 3億866万3千円

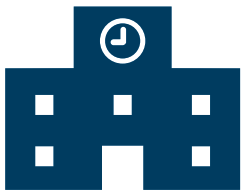
計画給水人口が100人を超えるものを水道としており、そのうち給水人口が5,000人以下である水道





令和6年度 一般会計  
1億700万円増の48億6,300万円

## 重点事業



教育文化

### 「豊かな心を育む」 1億8,509万円

- 子宝祝金 第1子10万、2子20万、3子以降30万円
- 出産・子育て応援交付事業 各妊婦・子供／5万円
- 結婚新生活支援事業 夫婦 ※(40歳未満)／30～60万円
- 学校給食費補助事業 など



健康福祉

### 「健やかな暮らし」 2億3,821万円

- 各種予防接種費用の負担軽減
- 不妊治療助成金 ※1人／上限20万円
- 緊急風しん抗体検査 全額公費
- 高齢者タクシー助成 など 1人／1.2万円



協働推進

### 「町づくり人づくり」 1,695万円

- 地域おこし協力隊事業
- 未来創生ふるさとまちづくり支援事業 など



活力創造

### 「賑わいと産業の創出」 3億7,325万円

- 結婚祝金事業 1組／商品券10万円
- 新しい農の販路開拓支援事業 170万円
- 住宅取得支援事業 ※1戸／最大230万円
- 湯野上温泉駅前環境整備事業 など

※詳しい内容は各課へお問い合わせください

# 新年度予算案を特別委員会で見極める

## 一般会計予算



### 指定管理施設

2645万7千円

**問**

人件費はアップしているのか？赤字企業が人件費アップは普通の民間企業からするとありえない。

**答**

コロナ禍で一時抑制していたが、通常営業に戻れば賃金は上がる。

**問**

営業中止になった中山花の郷公園の今後の利用方針は？

**答**

観光公社と協議し皆様から意見をいただきながら検討したい。

※指定管理とは

公の施設の管理を行わせるために、営利企業・財団法人・NPO法人・市民グループなどに代行させることができる制度。民間のノウハウを活用してサービスの向上や経費の削減を図ることを目的とする。



### 生活バス路線の確保事業

3792万7千円

**問**

オンデマンドバスやライドシェアなど比較検討はしたのか。

**答**

現状の路線バスを維持しつつ、デマンドバスの運用は検討中である。



### 地域おこし協力隊

1189万1千円

**問**

隊員は役場に限らず外部組織でも活動できるのか？

**答**

今後は役場だけでなく、観光協会や商工会でも活動できる人材を募集した。

**問**

地域おこし協力隊の経費に係る特別交付税措置はあるか？

**答**

地域おこし協力隊事業に係る経費については満額が特別交付税措置される。



### 在京下郷の集い

98万3000円

**問**

在京下郷の集いの予算はまた同じ内容で計上しているが、高齢者のみなので新しい企画を検討すべきではないか？

**答**

会員が高齢化しているため、まずは若年層の会員増を図る必要がある。



### 多面的機能

#### 支払交付金事業

1884万4千円

**問**

多面的機能支払交付金事業を実施している地区数と、事務的な負担が大きい地区の実態は？

**答**

事務作業が大変なために5年終了時に辞めたいという地区もあり、事務局を委託できる団体を探している状況。



### 農の販路開拓支援事業

221万円

**問**

大手へ売り込むなど今後の展開案は？

**答**

大手への販路拡大は、またまった数量の確保が難しいため現状では厳しい状況であるので、贈答品の上限個数を減らす予定である。



### 放課後子供教室

992万1千円

**問**

放課後子供教室事業の補助金額が371万円の根拠は？

**答**

補助金には上限額があり、その上限に従って3分の1の補助金となっている。

## 3/6・7 予算特別委員会



- 各予算案について質疑応答と採決が行われ、全ての予算案が原案通り可決
- 簡易水道事業会計については、水源の減少と漏水対策の必要性が指摘され、今後の対応が課題

### 特別会計予算



#### ■低所得者保険

##### 軽減の負担金

849万4千円

#### 問

低所得者保険軽減の経歴の対象人数について今年度の人数は？

#### 答

令和5年2月1日現在の人数は、第1段階が353名、第2段階が305名、第3段階が211名。



#### ■生活支援体制

##### 整備事業

655万円

#### 問

生活支援体制整備事業の内容と、社会福祉協議会への委託理由は？

#### 答

この事業は、生活支援コーナーネーターを配置し、地域ニーズを把握し、不足サービスの資源開発、関係者間のネットワーク構築、サービス提供者のマッチングなどを行うために委託するものである。



#### ■簡易水道事業

3億866万3千円

#### 問

簡易水道事業の減価償却の対象となる主な機械や設備は何か？

#### 答

昭和60年から令和5年度までの間に設置された管路、建物、減圧弁などの施設が対象となる。

#### 問

簡易水道の年間配水量の減少は危険な水準に達しているのか？

#### 答

漏水調査と修繕を進めた結果、年間配水量は減少しているが、一方で水源の水量も大幅に減少している。今後水不足が予想されるためプールの使用ができなくなる学校もあり、対策が急務となっている。



湯野上配水池

### 一般会計補正予算(3月補正)の主なもの

#### ▼歳入

南会津地方環境衛生組合施設整備事業にかかる過疎対策事業債	5719万円

#### ▲歳出

デジタル手続法に基づく戸籍システム改修要するに要する経費	200万円
大松川地区土地改良事業にかかる相続財産管理人の選任申立に係る経費	2800万円
定期人事異動に伴う人件費の補正	780万円

3月会議提出議案	結果
・ 下郷町野外活動施設等の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町観光案内施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(桑取火)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(戸石)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(大倉)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(枝松)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(大沢)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町(赤土)簡易給水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 下郷町林業集落排水施設の指定管理者の指定について	◎可
・ 道の駅しもごうの指定管理者の指定について	◎可
・ 町道の路線廃止について	◎可
・ 除雪車購入契約について	◎可



陳情

福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の陳情について

陳情者 下郷町大字豊成字林中

6090番地

児山 正己

審査結果 採択



教育長の選任

湯田 嘉朗

住所…下郷町大字豊成字倉

238番地



人権擁護委員

佐藤 守孝

住所…下郷町大字澳田字居平

253番地

# 議案



- 中小企業の経営安定化を図るため、町が利子補給を行う基金の設置が提案された。
- 介護保険料の所得段階の多段階化と介護保険事業計画の見直しに伴う介護保険料の設定が行われた。
- 公の施設の指定管理者について現在の事業者に指定することが決定した。



## ■下郷町協同組合資金 融資利子等補給基金

**問** 国の補給制度が終了した後  
の利子補給を町がどのくら  
いの期間行う予定か？

**答** 町では一旦800万円を基  
金に積み立て、令和5年度  
から9年度までの5年間で  
700万円を繰り入れ、残  
り100万円を10年度に回  
す予定である。



## ■指定管理施設

**問** 指定管理施設の契約は5年  
間だが、収益をアップさせ  
る事業計画書は審議され  
たのか？

**答** 各施設から計画書を提出し  
てもらい、審議会で協議し  
採点して適切かどうかを判  
断した。

## 問

その事業計画書は議会に提  
出できないのか？一般競争  
入札で他社に営業を募らな  
いのはなぜか？

2,645万7,000円

## 答

公募は行わず、現在の事業  
者に指定することが適切と  
判断した。公募は行わず、  
現在の事業者に指定するこ  
とが適切と判断した。



## ■指定管理施設

**問** 観光公社で職員の不祥事が  
あったのか？理事長は外部  
の経験者がよいのではない  
か？

**答** 不祥事の内容は公表を控え  
させていただきます。  
理事長については今後の人  
事を検討中である。



## ■大内宿駐車場

**問** 大内宿観光案内施設の駐車  
場は指定管理になってい  
ないのはなぜか？

**答** 土地の賃貸借契約の中で、  
地区が管理運営することに  
なっている。



## ■林業集落排水 簡易水道事業

**問** 林業集落排水施設は委託料  
が発生していないが、農業  
集落排水施設は町の企業会  
計で運営しているのはなぜ  
か？

**答** 排水施設は規模が小さく、  
地区で利用料で運営でき  
るが、農業集落排水施設は規  
模が大きいため町で管理運  
営費を負担している。

**問** 施設が故障した場合、町は  
補助金を出して修理するの  
か？

**答** 大規模な場合は地区と町で  
相談の上、対応を検討する  
必要がある。

※農業・林業集落排水

どちらも農業・林業・漁業集落  
地域などの汚水処理して公共  
用水域に放流する施設です。

3,891万4,000円

# 下郷町議会議員定数条例の一部を 改正する条例の設定について

(提出者 湯田純朗)



人口減少に伴い議員定数の削減を検討する動きがある。これらを鑑み  
他自治体に先駆け議員定数を「10人」とするべく議案を提案する



## 質疑

玉川  
邦夫

以前、特別委員会で再度議論が行われました。議員の意見では、現在の常任委員会組織と議員数の維持が必要であり、議員定数の変更については慎重に検討すべきという意見が多数でした。議員のアンケートでも定数維持に賛成の回答が過半数を超えており、議会基本条例の再確認も行われた。

湯田  
健二

町民の声、有識者の声を相当聞いてもっと煮詰めるべきではないか。新しい議員が誕生するのでその中で話し合った方がいいのでは。いずれは10人になると思うが、今のところは時期尚早ではないか。

星  
和志

施行が4月1日からということは、来期の改選から10人になるということなので、あと4年検討する時期があるのに、なぜ今なのかということをお聞きしたい。

湯田  
純朗

議会改革副委員長が、通年議会になる議会改革の中で、議員活動が忙しくなるから減らさないと言っていた。議員活動と定数は全然違う。そういうことを踏まえて10人である。

星  
和志

質を考えてからの数である。あと4年あるならば次の新しい人達でもう一度その話を検討されたほうが建設的であり、責任ある定数削減につながるのではないか。

湯田  
純朗

議会改革委員会が議会定数の削減を拒否し、その決定が次の選挙まで持ち越されることに反対の立場を示した。近隣町村も議員数を減らす計画である。次の選挙まで待つことが現実的ではない。減らすことで歳費を抑え、町民のために貢献することが必要だ。自身は議会改革を早期に実現させたいと考えており、選挙への影響を避けるために4月以降からの選挙を提案した。

## 反対討論

佐藤  
盛男

提案の意図を理解しているが、現在この問題に取り組むべき時期ではないと考える。過去の定数削減の経験から、特別委員会を設置し、十分な議論を経て全会一致で決定するプロセスが必要だ。定数削減には反対ではないが、新しい議員が選出された後に特別委員会を設置し、議論を行うべきだ。時期尚早であり、より検討すべきである。

## 採決

賛成：湯田純朗

反対：星和志、小椋淑孝、佐藤勤、星昌彦、山名田久美子、玉川邦夫、佐藤盛雄、星能哲、湯田健二、星輝夫

結果：反対多数のため否決





## 一般質問

3月定例会では、3人の議員が5件の一般質問を行い、活発な議論を展開しました。7ページより、質問した順に代表する質問の質疑応答を要約してお知らせします。

### 星 輝夫

- 下郷町新春年始会の中止理由
- 少子化に伴う小学校の統廃合問題
- 会津縦貫南道路開通前の景観改善



P 9

### 玉川 邦夫

- 子どもや若者の意見を施策に反映するために



P10

### 星 和志

- 町民への投資・挑戦



P11



“一般質問”は、議員が町の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等を聞き、町長などに所信や疑問をたたくことで、報告や説明を求めることです。



星 輝夫 議員

teruo hoshi

**質問** 下郷町新春年始会の中止理由

**答弁** 新型コロナウイルスとインフルエンザの感染拡大を考慮

**問** 令和6年度の下郷新春年始会を中止した理由は？

**答** 新型コロナウイルスとインフルエンザの感染拡大を考慮し、町民の健康を守るため中止を判断した。

**問** 新春年始会の中止について、発起団体と協議したのか？

**答** 12月4日付で中止する旨の文書を送付し、承諾を得たと考えている。

**問** 令和7年度の新春年始会は開催するのか？

**答** インフルエンザやコロナ感染症の状況次第で、開催を検討する。

**質問**

少子化に伴う  
小学校の統廃合問題

**答弁**

より良い教育環境の  
あり方を検討する

**問** 少子化に伴う小学校の統廃合問題について、どう考えているか？

**答** 児童生徒数の減少により複式学級が増え、学校の小規模化が進むと推測される。

地域と連携し、より良い教育環境のあり方を検討していく。

**問** PTAや保護者と統廃合問題について議論したことがあるか？

**答** 教育懇談会やコミュニティ・スクール委員会で意見を聞いており、今後アンケートを実施する予定。

**問**

観光の町下郷のイメージ悪化に繋がる湯野上の廃墟について会津縦貫南道路開通前の景観改善について、国交省と協議したことがあるか？

**答** 廃墟となっている旧湯野上観光ホテルについて文書での確認はできていない。個人所有の建物なので、町が単独で解体することはできない。

**問**

国の災害廃棄物処理事業活用すべきでは？

**答** 空家等対策特別措置法の施行により全国の自治体で所有者に代わって取り組むことはできる。しかし、費用は義務者から徴収することになっているためそれができる。専門的な方と協議し、指導してもらいながら結論を出していく。





玉川 邦夫 議員

kunio tamakawa

## 質問 こどもや若者の意見を 施策に反映するために

### 答弁 座談会や移動町長室 等を計画している

「こども・若者が本音で意見を言える場をつくり、施策に反映する」「こども施策の実施に中心的な地方公共団体がしっかり取り組む」という「子ども基本法」が施行された。  
また「こどもや若者、子育て当事者等の意見を聴き、政策に反映させる取組を積極的に進めて頂きたい」との加藤大臣の書簡が出された。

**問** この基本法を町長はどう捉えているのか。また、書簡から執行部は、どのような検討をされていくのか。  
**答** 子供に関する施策は重要なと捉え、こども基本法の理念に基づき、関係機関との連携を強化し、総合計画で上げた施策を着実に実施していく。

**問** 県内の小学校で子ども議会が行政を動かす、6年越しで公園整備事業が実現したという報道があった。また、下郷中三年生の総合学習で、自分たちができる町づくりについて討論を重ねてきた。そして、実際に手作りカフェを旧大松川分校にオープンさせた。こうした話題を町長は耳にされましたか。子ども・若者の意見を政策にどう反映させてやるか、基本法の趣旨はそこにあると思われるが、町長のお考えを再度伺います。  
**答** そうした生徒たちの活動や生の声を議員だけ

で留めて置かないで、是非、行政側にも届けて頂きたい。執行部と議会が一緒になって考えていく町づくりこそが重要と考える。

**問** これからは、若者世代の声が政策に反映された町づくりを目指して「子ども・若者議会」等の推進を提案したい。  
**答** 私も常々、そのような機会があればいいと考えている。

6年度は「移動町長室」などを設けて、子どもたちと直接話し合う機会をつくりたいという構想を持っている。

**問** 過去に各行政区を回って「町長との座談会」を実施したが、一回で終わっただよう。今後、続ける考えはあるか。  
**答** 話し合いの内容を事前

に示すなど座談会に関心を持って参加していただければ、よう工夫して実施していきたい。議会基本条例にある

「一般会議」制度も活用して頂き、町民との話し合いを大事にしていきたい。  
町政を担う者として、町民からの小さなつづやきを常に大切に取り上げ、可能な限り施策の中に反映させてきた。今後もその姿勢は変わらない。



旧大松川分校を活用して、田舎カフェで町おこしに挑戦する下郷中の三年生  
〈私たちができるまちづくり〉

## 質問 町民への投資・挑戦



星 和志 議員

kazushi hoshi

### 答弁 若者提案を積極的に受け入れる

#### 問

町民全体でのまち作りの一環として、様々な方からイベントなどの企画を募集し、その費用を補助するチャレンジ企画ができれば、まちの活性化に繋がるのではと考えた。

#### 答

令和3年度から、未来創生ふるさとまち作り支援事業を創設し、地域住民から自らの地域の未来を考え、その実現に向けて実施する住民主体のまちづくりを支援している。

県でも地域創生総合支援事業を継続しており、NPO等の民間団体が実施する先駆的な広域的な事業や、集落等の活性化事業、収益事業の実施も可能となっている。

#### 問

施策を町民に託す選択も一つ。この施策に対する意見と、町長の考える、実現可能で効果的であると考える施策を伺う。

#### 答

行政が税金を投入して補助支援をするには、事業の採算性、広域性、公共

性、持続可能な継続性が重要

#### 問

募集型事業としても既に県ではサポート事業があるとあったが、県や国の施策だと規模が大きかったりして、挑戦する人が限られてしまう。

#### 答

町としても個人レベルを助成し、挑戦を可能にして失敗を繰り返させながら成長させ、その後県のサポート事業に挑戦できるようなストーリー作りが必要だと考える。

#### 問

数打てばデータが得られ効果検証して、収益やデータが取れるので、それがまた行政の施策作りに反映できるのではないかと考える。

#### 答

町民の意見を全て網羅するのは難しいが、数多くの挑戦を行い、データを収集して効果検証することは重要である。

### チャレンジ企画サイクル



## 表彰



去る4月24日、南会津地方町村議長会総会の席上において、小玉智和前議長に対し、福島県町村議会議長会より、感謝状が贈呈されました。

令和5年6月から令和6年3月までの間、福島県町村議会副会長として会務の運営に専心努力された功績によるものです。

## 下郷大橋開通式



### ▲開通式の様子

令和6年3月3日(日)

平成14年から延長約1.5kmの整備を進めてきました『国道118号小沼崎バイパス』が会津縦貫南道路として最初の開通区間となりました。

## 議会構成



副議長 星 能 哲



議長 湯 田 健 二

### 議長就任あいさつ

このたび、議員各位のご推挙を得て、議長の要職を担うこととなりました。自ら浅学菲才を省みて、その重大さに身の引き締まる思いであります。

我が下郷町は、事業着手となつていく会津縦貫南道路と、国道289号が交差する起点となる町であり、現在整備が進められている只見町から新潟県三条市までの国道289号が開通となれば、より有利な条件が備わることとなります。

そのような中、今年度は「未来創生交流のまち 下郷」を将来像として掲げる第6次町総合計画の最終年度を迎えます。計画での「豊かな心を育む」「にぎわいと産業の創出」「健やかな暮らし」「住みよいまち」「まちづくり人づくり」の基本目標に基づいて、まちづくりを推進し、若者の流出を食い止めるとともに、地場産業の振興や企業支援、創意工夫を凝らした雇用を増やす取り組みなどを推進し、さらには交流人口の拡大を図ることが大切であると考えております。

そのためにも、町民の声に耳を傾け、そして円滑な議会運営を心がけ、下郷町発展のため努力を重ねてまいりますので、皆様方のご指導をよろしくお願いいたします。

下郷町議会議長 湯田 健二

## 総務文教常任委員会

委員長 湯田 純朗  
副委員長 星 昌彦  
委員 佐藤 勤  
委員 小玉 智和  
委員 星 和志  
委員 湯田 健二



## 産業厚生常任委員会

委員長 山名田久美子  
副委員長 猪股 謙喜  
委員 渡部 哲  
委員 星 邦一  
委員 大竹 浩治  
委員 星 能哲



## 広報常任委員会

委員長 星 和志  
副委員長 大竹 浩治  
委員 湯田 純朗  
委員 猪股 謙喜  
委員 星 昌彦  
委員 渡部 哲



## 南会津地方広域市町村圏組合議会議員

湯田健二 星昌彦 山名田久美子

## 南会津地方環境衛生組合議会議員

湯田健二 小玉智和 星邦一 大竹浩治

## 下郷町公有財産審議会委員

星昌彦 星和志 猪股謙喜 渡部哲

# 議会だより ギャラリー

議会とまちのうごきを  
写真でレポート

## 各学校の卒業式の様子

発行：福島県南会津郡下郷町議会  
編集：議会広報常任委員会

〒969-5345 下郷町大字塩生字大石1000番地  
E-mail: gikai\_01@town.shimogo.fukushima.jp

TEL: 0241-69-1123  
FAX: 0241-69-1167



旭田小学校



江川小学校



檜原小学校



下郷中学校

## 編集後記

厳しい冬が終わり念願の春がきました。月々の負担は増え生活はきびしいままでありますが、私たちの住むこの中山間地域は自然に恵まれ、考え方や行動の仕方次第では物質的生活に比べると時の流れや人の営みは多様で非常に豊かであると感じます。まわりに流されず自分のペースで生活していけば良いと思います。このすばらしい自然に感謝します。

(星 和志)

### 議会広報常任委員会

委員長	星	和	志
副委員長	大	竹	浩
委員	猪	股	謙
委員	湯	田	純
委員	星		昌
委員	渡	部	哲